

おりんさんを

新技術DB登録

東京都建設局

東京都建設局の新技術情報データベースに、円型水路協会(会長 荒川崇氏)が開発した自転車通行帯用側溝「おりんさん」が新規登録された(登録技術名・可変勾配対応おりんさん)。おりんさんは同協会の主力商品「スーパ側溝」の新しいバリエーションとして開発した新製品で、平成24年に発表された「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に対応する。

今回データベースに登録された「可変勾配対応おりんさん」は、自転車走行性を考慮した自転車通行帯用側溝。鋼材により排水用の呑み口を可変構造としており、路面と排水の部分的な逆勾配に対応することができる。勾配の調整は施工時に露出した鋼製アングルとボルトナットで行い、現場での微妙な勾配の調整や勾配管理が容易。

従来のおりんさんと組み合わせると、標準部と可変勾配部に連続したスリットを形成して連続的な排水施設の整備ができる。また車両乗入れ部対応製品等と組み合わせると、統一的な縦断排水が可能。路面の露出幅は約60mmで自転車のタイヤが製品上部に乗り上げない。また万が一乗り上げた場合でも、スリット幅は15mmに抑えているので、ロードバイクのタイヤでもはまり込むことはない。